

U10a 宇宙のダークマター(自転よりできない電子のラブと陽子のラブ)はどのようにして活性化され、(自転と公転ができる電子のラブと陽子のラブ)になったか。自転と公転ができる電子のラブと自転と公転ができる陽子のラブになって、初めて原子に成ることができる。

小堀しづ

○宇宙の初めのダークマターは宇宙の中心のブラックホールから噴出するジェットにより原子に成った。○
 2.631×10^{13} 太陽質量の原子数 = 2.621×10^{13} 太陽質量 \times 1 太陽質量の原子数 = 2.631×10^{13} 太陽質量 \times 1.188×10^{57} 個 = 3.126×10^{70} 個です。1 個の陽子のラブは 1 秒間に 1.656×10^J の電磁気を噴出するので、 3.126×10^{70} 個の陽子のラブは、1 秒間に 3.126×10^{70} 個 \times $1.656 \times 10^J = 5.177 \times 10^{71}J$ のジェットを噴出する。○
 $10 - 16m$ 時代、電子のラブの公転軌道は $10 - 16m$ です。電子のラブのエネルギーは、 $8.665 \times 10^{24}Jm \div 10 - 16m = 8.665 \times 10 - 8J$ です。陽子のラブのエネルギーは、 $8.665 \times 10 - 8J \times 1836 = 1.591 \times 10 - 4J$ 、です。それで、 $10 - 16m$ 時代の陽子のラブのダークマターに $1.591 \times 10 - 4J$ を与えると、 $10 - 16m$ 時代の陽子のラブのエネルギーになる。これが 1 ダークマターを活性化するエネルギーである。○噴出するエネルギー \div 1 ダークマターを活性化するエネルギー = $5.177 \times 10^{71}J \div (1.591 \times 10 - 4J) = 3.254 \times 10^{75}$ 個 1 秒間に 3.254×10^{75} 個のダークマターを活性化できる。 3.254×10^{75} 個のダークマターは何個の太陽質量か。 3.254×10^{75} 個 \div 1 太陽質量の原子数 = $3.254 \times 10^{75} \div (1.188 \times 10^{57} \text{ 個}) = 2.739 \times 10^{18}$ 太陽質量○ U1.27 の観察による質量は合計で、 6.1×10^{18} 太陽質量であるから、約 4.4 秒で、宇宙を 1 周する $2 \times$ U1.27 の原子(電子のラブと陽子のラブ)を作ることができた。